

8-4-2 交通・安全専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 交通・安全専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（8月、3月は休会）

(2) 自主研究

H27年度に引き続き、『交通政策基本計画に関する交通・安全分野の新たな取り組みと今後の展開に関する研究』を主テーマに、【WG①】豊かな国民生活に資する使いやすい交通の実現（具体例：買い物難民対策、カーシェアリング、バリアフリー、自動走行等）、【WG②】成長と繁栄の基盤となる国際・地域間の旅客交通・物流ネットワークの構築（具体例：スマートIC、高速バスネットワーク、道の駅、2階建て観光バス等）、【WG③】持続可能で安心・安全な交通に向けた基盤づくり（具体例：環状交差点、交通安全、省エネ等）をサブテーマとし、交通・安全に関する技術向上と新たな市場開拓に向け実施した。なお、本自主研究テーマは平成27、28年度の2か年で実施したものであり、最終成果はこれまで通り協会会員を対象にホームページに掲載予定である。

(3) セミナー開催

「ラウンドアバウトの持つ機能と価値（まちづくりにおけるラウンドアバウトの関わり）」をテーマとして開催した（道路専門委員会と共同開催）。

- ・開催日：平成28年12月2日（金）
- ・講師①：日本大学教授 下川澄夫氏から「ラウンドアバウトの機能と価値」として講演を頂いた。

講師②：静岡県交通基盤部道路局道路企画課、長野県飯田市建設部地域計画課から事例紹介を頂いた。

(4) 現地見学会の開催

平成28年度の自主研究テーマに関連して、先進事例の見学として、最先端の物流施設及び全国的な参考事例になっている重点道の駅、新たな交通結節点について現地視察を行った。

- ・開催日：平成28年9月7日（水）
- ・視察箇所：ヤマト運輸羽田クロノゲート道の駅保田、道の駅とみうら新宿バスターミナル「バスタ」

(5) 最新関連情報の収集

交通・安全に関わるトピック的な事項について、今後の展開方向、建設コンサルタントとしての関わりなどを議論している。平成28年度における主な内容は以下の通りである。

- ・ETC2.0の動向と活用、ITS・自動運転の動向、官民ITS構想・ロードマップと改定の主なポイント、自転車施策の動向等

(6) 外部組織への活動支援等

- ① 日本モビリティ・マネジメント会議への委員派遣
- ② 国交省大学 道路交通安全〔事故対策コース〕への講師派遣

2. 次年度の活動について

平成29年度の活動は、『交通・安全』の新たな展開に向けた観点から、“今後の道路空間のあり方”を自主研究のテーマとして活動する。また、研究テーマの内容に合わせてセミナー、現地見学会、フィールドワーク等を実施する予定である。

（交通・安全専門委員会委員長 泉 典宏）

交通・安全専門委員会 H28年度自主研究報告書

「交通政策基本計画に関する交通・安全分野の新たな取り組みと今後の展開に関する研究」

第1編 「交通政策基本計画」の概要と研究の位置づけ
第2編 豊かな国民生活に資する使いやすい交通の実現に向けて

第3編 成長と繁栄の基盤となる国際・地域間の交通ネットワークに向けて
第4編 持続可能で安心・安全な交通の基盤づくりに向けて